

- 1 源氏が平氏を滅ぼした最後の決戦が行われた場所はどこ？
- 2 日蓮が人々の救いとなるとして唱えることを推奨した「南無妙法蓮華經」という言葉を何という？
- 3 北条時宗が執権として防戦にあたった、大陸から攻めてきた軍勢を何という？
- 4 鎌倉時代後半に、荘園領主や幕府の命令を無視して年貢を奪い、実力行使によって抵抗した集団を何という？
- 5 東大寺南大門に安置されている、力強い表現が特徴の金剛力士像を制作した仏師は誰？
- 6 13世紀初めに建国され、中央アジアまでを征服して大帝国を築いた人物は誰？
- 7 13世紀に国号を元と定め、二度にわたり日本へ侵攻を企てたモンゴル帝国の皇帝は誰？
- 8 平安時代末期に、ただひたすら念仏を唱える教えを説き、浄土宗を開いた僧は誰？
- 9 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？
- 10 鎌倉時代後期に時宗を開き、全国を回りながら布教活動を行った僧は誰？
- 11 鎌倉時代に、踊り念仏を広めて時宗を開いた僧侶は誰？
- 12 1185年に全国の荘園や公領へ地頭を置く権限を朝廷に認めさせた、鎌倉幕府の初代将軍は誰？
- 13 浄土宗の教えが急激に広まったことを警戒した旧仏教勢力との対立により、法然が讃岐へ流された出来事を何という？
- 14 鎌倉時代に制定された、武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定めた武士独自の法を何という？
- 15 鎌倉時代に日蓮が唱えた「題目を唱えるだけで救われる」という教えにより、支持を集めた対象となった人々を何という？
- 16 鎌倉時代に宋から帰国し、臨済宗を日本に伝えた僧は誰？
- 17 鎌倉時代の武士の間で広く行われていた、親の領地を子や女子などに分けて相続させる仕組みを何という？
- 18 鎌倉幕府の重要職であり、土地の管理や年貢の徴収、裁判などを行って現地の武士を支配した役職は何という？
- 19 モンゴル帝国（元）の遠征を受けた際、当時の日本を統治していた幕府を何という？
- 20 鎌倉幕府において、将軍が御家人の何を守る（安堵する）ことを根拠とした主従関係を「御恩と奉公」という？
- 21 一遍が踊り念仏を通して信仰を広めた、浄土信仰の中心となる仏を何という？
- 22 鎌倉時代に広まった仏教の新しい宗派の一つで、ひたすら座る修行を行うことを重視した宗派を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	1185年、現在の <u>山口県下関市</u> にあたる壇ノ浦で、源義経率いる源氏軍と平氏軍が激突しました。		<u>山口県下関市</u>	☐
2	日蓮は『法華経』の功德を信じ、その <u>題目</u> である「南無妙法蓮華經」と唱えることこそが、最も確実な救済の手段であると説きました。		<u>題目</u>	☐
3	<u>元軍</u> の高度な戦術や火器に苦戦しましたが、最終的に <u>元軍</u> は撤退しました。		<u>元軍</u>	☐
4	<u>悪党</u> は、荘園領主や幕府の統制を無視して、力づくで年貢の徴収を妨害したり、所領をめぐって紛争を起こしたりした武装集団です。		<u>悪党</u>	☐
5	<u>運慶</u> は、それまでの仏像と異なり、筋肉の動きや表情の細部までリアルに表現する彫刻手法を確立しました。		<u>運慶</u>	☐
6	1206年にモンゴルの首長たちによってハン（指導者）に選ばれた <u>チンギス・ハン</u> は、騎馬軍団を率いて中央アジアへ進出しました。		<u>チンギス・ハン</u>	☐
7	第5代皇帝 <u>フビライ</u> ・ハーンは国号を「元」と改め、大都（現在の北京）を拠点に東アジアの覇権を握ろうとしました。		<u>フビライ</u>	☐
8	<u>法然</u> は、ただ念仏をとなえることで阿弥陀仏の救いを得られるという「専修念仏」の教えを掲げ、日本初の念仏専用の宗派である浄土宗を開きました。		<u>法然</u>	☐
9	<u>鎌倉文化</u> は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。		<u>鎌倉文化</u>	☐
10	<u>一遍</u> は「時宗」を開き、踊り念仏を行いながら全国各地を巡りました。		<u>一遍</u>	☐
11	<u>一遍</u> は全国を旅しながら、念仏を唱えて踊る「踊り念仏」を行うことで、阿弥陀仏の教えを広めました。		<u>一遍</u>	☐
12	<u>源頼朝</u> は、朝廷との交渉を通じて全国に守護と地頭を置くことを認めさせました。		<u>源頼朝</u>	☐
13	その結果、法然は <u>承元の法難</u> によって讃岐（現在の香川県）へ流罪となり、多くの弟子も処分されました。		<u>承元の法難</u>	☐
14	それまで武士の間で行われてきた「武士社会の慣習」を基に、裁判の基準が文章化されました。		<u>御成敗式目</u>	☐
15	この分かりやすさと、社会の悪を鋭く批判する日蓮の態度は、日々の生活に苦しむ <u>民衆</u> に強く支持されました。		<u>民衆</u>	☐
16	宋に渡り修行した <u>栄西</u> は、帰国後に禅宗の一つである臨済宗を伝えました。		<u>栄西</u>	☐
17	親が持つ領地を、男子だけでなく女子にも分けて相続させるのが一般的なルールでした。		<u>分割相続</u>	☐
18	<u>地頭</u> は、荘園や公領に置かれ、年貢を徴収したり、警察の役割を果たしたりして、現地での土地支配を強めました。		<u>地頭</u>	☐
19	<u>鎌倉幕府</u> は「御恩と奉公」という主従関係を基盤に、地頭や守護を配置して日本全国の武士を統制しました。		<u>鎌倉幕府</u>	☐
20	将軍は御家人の領地（本領）を「安堵（保証）」し、時には新しい領地（新恩給与）を与える「御恩」を与えました。		<u>土地</u>	☐
21	<u>阿弥陀仏</u> は、無限の寿命を持ち、すべての生き物を救う仏と信じられていました。		<u>阿弥陀仏</u>	☐
22	<u>曹洞宗</u> は、宋から帰国した道元が日本に伝えた宗派です。		<u>曹洞宗</u>	☐

言えなかった用語ノート